

事業所名

リンク 秋川教室

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人(事業所)理念

つながりを力に

支援方針

①生活に繋がる生きる力をはぐくむ

【生活習慣の定着】

毎日同じ時間・同じリズムで生活することでお子さんの生活サイクルが定着するよう支援します。

【身辺自立】

お子さんの発達に合わせ段階的に身辺自立を促します。ひとりで言う事が難しいお子さんにも生活の中でできる方法を獲得できるように支援します。

②一人ひとりに合わせた支援の提供

【個別支援の実施】

個別支援の枠のお子さんだけでなく、小集団支援のお子さんにも個別支援が受けられるようなスケジュールを組み、それぞれの発達に合った支援を提供します。お子さんが成長してほしい部分のみにフォーカスするのではなく、好きな事やできることをさらに伸ばしていけるような支援も行います。

③家族や地域のひとたちとともに考える

【ペアレントトレーニング・お話し会(座談会)の実施】

前提としてお子さんの支援にはご家族や関わる大人の協力が必要と考えています。特に親御さんはお子さんと過ごす時間が長いので、ペアレントトレーニングを実施し同じ視点やえ方をもってもらい家庭でも実践できるように支援します。また親御さん同士が気軽に話せる場を設け、地域や同じ悩みをもった人とのつながりがもてるようにします。

【支援のフィードバック、事業所内相談加算の活用】

支援後にはフィードバックの時間を設け、今行っていることや将来の見通し、家庭で困っている事等をお話しています。また相談室1対1で相談できる機会も設け、家庭や事業所外での様子を共有したり、親御さんのメンタルサポートも含め行えるようにします。

【地域活動への参加、地域資源の活用と研修会やイベント等の実施】

支援の一環として地域資源(公園、公共施設等)を積極的に活用し、地域の中に発達に気になるお子さんがいるということをまずは知ってもらえるよう努めるとともに、あきるの夏祭り等の地域イベントへも積極的に参加し地域のお子さんへ貢献していきたいと考えています。

医師、OT、ST、PT、心理士等の専門職からの意見や支援方法等を共有する機会(親御さんからの共有、支援会議への出席、リハビリ等の場を見学・同行等)を設定し、お子さんの支援に生かします。

④好きな事が増えるよう様々な機会の提供を行う

【季節行事やイベントの実施】

季節ごとの行事やイベントを計画し実施します。興味の幅を広げられるようまずは経験してもらうことから始めます。

【自己決定の力、自己肯定感を育みます】

自己決定のはじまりは好き嫌いだと考えます。これは好きだから食べる、あれは嫌いだから食べない等、自分の意思を自分で決める自己決定の力、そしてそれを認めてもらえることが自己肯定感を育むためにも必要です。

特性や育成環境の中で自分の気持ちを伝えることが苦手なお子さんもいるため、リンクでは好きなことをたくさん見つけられる機会の提供とともに、好きな事を好きと言えそれを認められる環境をつくります。

営業時間		月火木金／9:00～17:00 水／11:30～17:30	送迎実施の有無	なし
支援内容				
本人支援	支援のベース	応用行動分析学(ABA)と感覚統合をベースに支援を行っている。また障害は「個と環境の相互作用である」という考えの基、個と環境どちらへもアプローチしている00項目ほどのアセスメントを実施後、5領域に合わせた支援目標を20個程度作成し、お子さんに必要なスキルを増やす・伸ばすことにアプローチしながら、保育所等訪問の活用や関係機関と連携し集団生活の中でも過ごしやすくなるよう支援している。		
	健康・生活	手洗い・うがい等の清潔を保つ方法、衣服の着脱やトイレトレーニング等の身辺自立、交通ルール等の生活に必要なルールの理解等を学ぶプログラム		
	運動・感覚	感覚統合の視点を基にした感覚遊び、歩く・走る等の基本的な動作、ボール・平均台等用具を用いた動作、玉入れ・ボーリング等遊びに必要な動作、紙をちぎる・ペグ差し・パズル指先を使った動作、協調運動等のプログラム		
	認知・行動	応用行動分析学を基にした適切な行動の獲得、自ら考え行動する力(自己決定)の獲得、指示理解、名詞、数、平仮名や数字等を学ぶプログラム		
	言語 コミュニケーション	声を出す、名詞の音の数を数える、ものの名前を言う・指をさす、会話をする等、発語やコミュニケーション等を学ぶプログラム		
	人間関係、社会性	ソーシャルスキルトレーニング、順番、他者との関わり、集団行動等を学ぶプログラム		
家族支援		事前にご相談の上、ご家庭に訪問やオンライン、または事業所内等での相談支援・相談等援助を行っている。支援場面においてお子さんの特性等を踏まえた関わり方等に関して談援助を行っている。ペアレントトレーニング・お話し会の実施。		
地域支援・地域連携 移行支援		事前にご相談の上、保育所等訪問支援等の活用や関係機関と連携し、保育園・幼稚園等での集団生活に適應できるよう訪問先の職員さんと協力しながら直接支援や支援方法の共有を行っている。	主な行事等	8月 あきる野夏祭りへ出店、12月 クリスマス会、3月 卒園式 季節制作や課外活動、ペアレントトレーニングとお話し会
職員の質の向上		入社時に応用行動分析学(ABA)と感覚統合の研修を行っている。半月1回回のスキルチェック(ペーパーテスト、支援内容と実践のチェック)を行い支援の質の向上に努めている。終礼やミーティングの場においてケース会議や支援方針について話し合う機会を設けている。		